

退院を控えて

皆様お元気ですか。入院が長期化しまして、ご迷惑をお掛けしております。

三月初旬には退院し、早々に職場復帰を予定しておりましたが、未だ利き手が不自由で確たる見通しが立ちません。

しかし、日常生活の中でのリハビリが大切であることは重々承知致しており、一時も早く皆様にお目に掛りたいと願っております。

今回の入院で、肩を病んでおられる患者さんの辛さを身に染みて体験致しましたし、肩専門の主治医も透析患者さんの肩関節病変に、大層関心を持っておられました。

他施設ではありますが、床上から日常の診療を眺めていますと、改めて日々の些細なことの積み重ね・お互いの労りの言葉と行為が、いかに大切であるかをしみじみと感じます。

一日も早く顔を出せるよう努力致します。患者様にも宜しくお伝え下さい。

平成 27 年 3 月 3 日

はまゆう会会長 市丸 喜一郎